

認知症

～一緒にいるから大丈夫～

「すぐに忘れてしまう編」

(画) 実重裕香さん



そこで、めぐみちゃんは…



ハナさん



みどりさん



めぐみちゃん

お嫁さんのみどりさんが用事で出かけるため、ハナさん（70歳）と孫のめぐみちゃんでお留守番をすることになりました。

アドバイス

認知症になると、新しい出来事を覚えることが難しくなります。すぐに忘れてしまうので「さっきも言ったでしょ」などと叱られても、その理由が分かりません。記憶は残らなくても、叱られたという嫌な思いは残るので、イライラしないで楽しい雰囲気にししましょう。



認知症についてのご相談は

大山町地域包括支援センター
☎0859-54-5207

土砂災害に対する

防災訓練を行いました

防災関係機関相互の協力の円滑化を図り防災に対する組織力の向上を図るとともに、参加住民の「自助、共助」精神の育成や災害に対する備えと、防災意識の向上を図ることを目的に、中山地区で土砂災害を想定した防災訓練を10月27日（日）に行いました。

訓練には、土砂災害警戒区域のある2集落や大山町消防団、大山町赤十字奉仕団、大山町建設業協議会、大山消防署、八橋警察署などの関係機関およそ140人が参加しました。

今回の訓練は「前日から降り続いた雨が一層強まり、大山町に土砂災害警戒情報が発表された」との想定で、町は災害対策本部を設置し、町消防団等による警戒・広報活動や各機関への出動の要請を行いました。また、がけ崩れの恐れが強まったとの連絡を受け、避難勧告を発令し、住民の皆さんは、町消防団や集落



▲避難誘導の様子

の役員の誘導に従い、避難先の中山公民館に避難しました。避難終了後は、避難所の中山公民館で、鳥取県治山砂防課の職員による「土砂災害から身を守ろう!」と題した出前講座が行われました。講師の「近年、局地的大雨が多く、土砂災害も増加している」ということや「身近に危険を感じたら、自ら判断して早期に自主避難することが大事」との話に、受講者は熱心に耳を傾けました。